

愛知医科大学病院



病院長名	天野 哲也
所在地	〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
交通案内	地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分 東名高速名古屋ICから車で約15分

□ 病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。特定機能病院や高度救命救急センターなどに指定され、充実した設備と最新の診療体制を整え、尾張東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。

「生活時間の最大活用」「医療の可視化」「地域との協力」をコンセプトに、高度専門医療機能の強化と地域救急医療の充実に重点を置いた最先端の医療環境を整備し、数多くの最新医療機器を導入し、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

□ 研修プログラムの特徴

プログラム名：愛知医科大学小児科研修医（専攻医）プログラム

当院を基幹施設として、名古屋市内の大学病院、愛知県から関東圏までにおよぶ連携施設とともに小児科専門研修を行い、新生児からAYA世代まで、全ての領域の疾患を幅広く学び、実践的な医療と研究に基づくプロフェッショナリズムを育成することを目的とします。

研修期間は基幹施設＋連携施設（6か月～1年）の3年間で、次のコースを設けています。

① 小児科基本コース

小児科専門医の取得を主な目的としますが、将来のSubspecialtyが未定な場合もあり得ます。common diseaseから小児科の各専門領域を偏りなく学ぶことを目的としたコースであり、専攻医研修期間の3年間に於いて全ての領域をローテーションします。原則として1年目は病棟主治医として、全領域の疾患を担当し、2年目にはNICUにて4～6か月間の新生児疾患の研修を行います。その後地域医療の経験と領域の希望を踏まえて連携施設で研修します。

② 専門領域重点コース

希望する専門領域を重点的に研修するコースです。研修1年目から2年目の小児科病棟、NICU研修は基本コースと共通ですが、その後希望の領域の連携施設で重点的に研修するとともに、病棟においても専門医とともに臨床グループの一員として経験を積みます。研修する連携施設の選定は専攻医と面談の上、希望する専門領域の責任者とプログラム統括責任者が協議して決定します。

臨床系大学院への進学は、いずれのコースでも可能で、プログラム統括責任者と協議して大学院入学時期を決めて頂きます。

□ 主な連携施設

連携施設：

（愛知県）

名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学、あいち小児保健医療総合センター、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、名古屋記念病院、岡崎市民病院、総合大雄会病院、一宮西病院、安城更生病院、大同病院

（東京都）

順天堂大学附属順天堂医院

（岐阜県）

多治見市民病院

いずれかを原則として6か月～1年ローテーションします。（複数施設での研修の場合は研修期間の合計が1年間となります）研修する連携施設の選定は専攻医と面談の上、プログラム統括責任者が決定します。

□ メッセージ

指導医（プログラム統括責任者 堀 壽成）

愛知医科大学病院小児科では神経、アレルギー、血液・腫瘍、内分泌・代謝、消化器、循環器、腎臓の7つの専門領域の指導医が研修を担当することで、一般診療から高度な専門医療までを学ぶことができます。これは県内の基幹病院としては他には例のない幅広い研修環境で、「研修手帳」に定められた疾患、手技を全て網羅することが可能です。また、専門領域への移行や大学院進学なども可能で、症例発表や研究に対する指導にも力を入れています。最新の設備と充実した指導医の下、愛知医科大学病院小児科で小児科専門医を目指しましょう。

□ 募集要項

・採用予定人数	4人
・給与／月額	月額：436,644円（免許取得後3年目医師の平均、R6年度実績より算出、別途賞与支給あり） ※勤務状況により実際の支給とは異なる場合があります。
・当直回数／月	4-5回
・当直料／回	（救急外来）宿直手当 約39,000円 （病棟）宿直手当 20,000円
・その他	通勤手当、住宅手当、扶養手当、賞与（年2回）、社会保険等（日本私立学校振興・共済事業団（健保・年金））、健康診断 ※診療科から外勤の斡旋があります。
・応募連絡先	担当者 堀 壽成 電話番号 0561-62-3311 Eメール hori@aichi-med-u.ac.jp